



第 2660 地区



写真中央が山本ガバナー

情熱溢れるリーダー

やまもとひろし
山本博史ガバナー
(大阪南RC)

大阪北部



山本博史さんは、大阪で150年以上にわたり続く老舗の昆布店を経営、その店は叔母上である故・山崎豊子さんの小説『暖簾』のモデルにもなっています。

30代半ばで若くしてロータリアンとなり、以降、大阪南RCでは幹事、理事を歴任し、2006—07年度、私がガバナーを務めた時には代表幹事として、準備段階からずっと陰なたなく支えてもらいました。さまざまな事柄や事業について、いつも一歩先を読み、準備から報告まで本当に粉骨砕身、お世話になりました。

その後、山本さんが大阪南RCの会長エレクトとして、まさにPETSを終え、会長方針を立てた時のことでした。東日本大震災が発生し、^{きゆうきよ}急遽、全ての行事予定を白紙に戻し、東北の支援のためリーダーシップを発揮。情熱溢れるリーダーとしてその行動力、統率力は大変優れています。

大胆かつ緻密な行動をする山本さんですが、普段は人懐っこく、老舗の旦那さんらしい、おおらかで明るい性格の持ち主です。

ロータリー活動、仕事、そして遊ぶことにも一生懸命取り組む素晴らしい人が、この度わが地区のガバナーとして活躍することが大変うれしく、また大阪南RCとしても光栄に思います。山本博史さんをよろしく願い申し上げます。

大阪南RC 岩田宙造

職業分類—食品工業 1953年9月14日生。(株)小倉屋山本代表取締役社長。88年大阪南RC入会。地区代表幹事。地区RC財団委員会資金管理小委員長。メジャードナー。PHS。米山功労者(5)。

- ①気の合う仲間とおいしいお酒と食事を楽しんでいる時
- ②長くくだい・しつこい話
- ③アライグマ。マメなのか単に落ち着きがないのかわからない